

令和6年度

学校推薦型選抜 学生募集要項

◎ この学生募集要項は、帯広畜産大学の学校推薦型選抜への出願者のために作成してあります。
学校推薦型選抜の出願はインターネット出願登録サイト及び必要書類の郵送により行います。

今後の社会状況によっては、やむを得ず内容を変更する場合があります。

変更がある場合は本学ウェブサイトに掲載しますので、試験当日まで定期的に確認いただきますようお願いいたします（試験日前日までにお知らせを掲載する場合があります）。

トップページ上のメニュー「入試情報」内の「入試に関するお知らせ」

URL : <https://www.obihiro.ac.jp/nyushi>



「入試に関するお知らせ」QRコード：

帯広畜産大学

※2023年9月22日 P8 検定料等払込方法 修正

目 次

I	帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程 教育ポリシー（方針）	1
II	学校推薦型選抜（畜産科学課程，A推薦）	
1	実施課程及び募集人員	4
2	出願資格・要件	4
3	入学者選抜方法	4
III	学校推薦型選抜（畜産科学課程，B推薦）	
1	実施課程及び募集人員	5
2	出願資格・要件	5
3	入学者選抜方法	5
IV	学校推薦型選抜共通事項	
1	出願手続	6
2	障がい等のある志願者との事前相談	9
3	学力検査等の日時・場所	9
4	合格発表	10
5	入学手続	10
6	日本学生支援機構給付奨学生に採用された方の入学料免除・授業料免除	11
7	帯広畜産大学独自の入学料の免除・徴収猶予	11
8	帯広畜産大学独自の授業料の免除・徴収猶予	12
9	学生寄宿舍について	13
10	学生教育研究災害傷害保険について	13
11	一般選抜への出願について	13
12	入学前の学習課題について（畜産科学課程A推薦のみ）	13
13	個人情報の取扱いについて	13
○	試験成績等の開示	14
○	出願書類の提出・問い合わせ先	14
○	帯広畜産大学所在地及び交通案内図	15

I 帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程 教育ポリシー（方針）

◎目指すべき人材像

食と農の大切さ、動植物の命の尊さを心得た素養を基礎として、「農場から食卓まで」の幅広い視点で現場に適応できる知識と実践力を有するとともに、地球規模課題解決等の国際的視野を備えたグローバル人材

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学は、獣医・農畜産融合の視点から、農場から食卓まで生命・食料・環境を科学し、農畜産の幅広い分野で活躍する実践的な専門職業人を育成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 「農場から食卓まで」の幅広い考え方で現場に適応できる知識と能力を身につけたい人
2. 北海道十勝地域の豊かな自然と風土のもとで、食と農の大切さ、動植物の命の尊さを学びたい人
3. 食や環境などに関する地球規模の社会問題を解決する能力を身につけたい人
4. 農畜産学および獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域について学ぶために必要な基礎学力を身につけている人
5. 自分の意見を持ちつつも、他の多様な意見や価値観を尊重して協力することができる人

○入学者選抜の基本方針

1. 農畜産科学及び獣医学を学ぶための基本的な学力や思考力を備えているかどうかを重視します。
2. 一般選抜では、農畜産科学及び獣医学を修得するために必要な理系教科の基礎知識及びその応用的思考力、そしてグローバルな情報を理解するための英語力を評価の対象とします。
3. 学校推薦型選抜、帰国生特別選抜、社会人特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜では、情報の理解力と分析力、自身の考えを表現する力、コミュニケーション能力、そして学習意欲を評価の対象とします。

○入学者選抜方法

1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査及び調査書を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、5教科7科目を課し基礎学力の幅広い達成度をはかります。個別学力検査では、英語・数学・理科（物理・化学・生物）からなる総合問題を出題し評価します。調査書^{*}においては、高等学校での学習の達成度並びに学習以外の活動を評価します。

（※令和6年度入試の調査書については高等学校での学習の達成度を評価します。）
2. 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査及び調査書を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、5教科7科目を課し基礎学力の幅広い達成度をはかります。個別学力検査では、面接及び小論文試験を実施します。面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価し、小論文試験では情報の理解力と分析力、思考力、自分の考えを表現する力を評価の対象とします。調査書においては、高等学校での学習の達成度をはかります。
3. 学校推薦型選抜
畜産科学課程においては、高等学校の農業科（それに準じる学科を含む）の生徒を対象としたA推薦と、すべての学科の生徒を対象としたB推薦の二つの区分があり、いずれの入試においても、出願書類の審査、面接及び小論文試験を実施します。出願書類では高等学校での学習の達成度をはかります。また、面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価し、小論文試験では情報の理解力と分析力、思考力、自分の考えを表現する力を評価の対象とします。
4. 帰国生特別選抜
出願書類の審査、面接及び小論文試験を実施します。出願書類では高等学校での学習の達成度及び英語能力（TOEFLまたはIELTSの成績を提出）をはかります。また、面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価し、小論文試験では情報の理解力と分析力、思考力、自分の考えを表現する力を評価の対象とします。

5. 社会人特別選抜
出願書類の審査，英語（TOEIC L&R の成績を大学の基準で点数換算して利用），面接及び小論文試験を実施します。出願書類では高等学校での学習の達成度をはかります。また，面接ではコミュニケーション能力，学習意欲を評価し，小論文試験では情報の理解力と分析力，思考力，自分の考えを表現する力を評価の対象とします。
6. 私費外国人留学生特別選抜
出願書類の審査，日本留学試験の成績及び面接を総合して選抜を行います。出願書類では高等学校での学習の達成度及び英語能力（TOEFL または IELTS の成績を提出）をはかります。また，日本留学試験では大学で学ぶための基礎学力をはかり，面接ではコミュニケーション能力，学習意欲を評価します。

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学では，教育課程で定められた授業科目を履修して所定の卒業要件単位数を修得し，以下の知識や能力を身につけた学生に学士の学位を授与します。

1. 獣医・農畜産融合の視点から，食料の生産から消費に至る過程についての関心が高く，課題解決に向けて取り組む態度を身につけている。
2. 国際化社会で必要となる見識と基礎的コミュニケーション能力を身につけている。
3. 獣医農畜産の専門教育コースである下記“ユニット”の専門知識，技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<畜産科学課程>

家畜生産科学ユニット

- ・家畜の飼養管理，繁殖や改良，乳肉の生産についての専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

環境生態学ユニット

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組み及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

食品科学ユニット

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー），二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

農業経済学ユニット

- ・農畜産の生産，加工，流通，消費に関わる諸問題の把握や分析に必要な社会科学的な専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

農業環境工学ユニット

- ・農業農村工学や農業システム工学に基づく先進的農業と環境保全を両立させるための専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

植物生産科学ユニット

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から，その環境で育つ作物の生理，生態及び育種に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、農畜産学及び獣医学とこれらに関連する諸学術分野について、以下の点に配慮しながら授業科目を編成し教育を行います。

1. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域に関する幅広い視野と専門性を身につけるための教育を行います。
2. 「農場から食卓まで」の幅広い視野に基づいて、食料生産及び食の安全に関わる授業科目を広く修得できる科目を配置し教育を行います。
3. 低学年では教養と語学力を向上させるための科目及び専門領域への導入的科目を、高学年では専門領域の科目を配置し、修学の積み重ねを重視したアドバンス制教育を行います。
4. 専門教育コースである“ユニット”では、より専門性を高めるための科目を配置します。同時に、生命、食料、環境に関する幅広い知識の修得を目的として、他ユニットの科目も適宜選択可能なシステムを設け、専門性を広げる教育を行います。
5. 高学年で分属する研究室では、卒業研究や卒業研究ゼミナールを通して専門知識と技術の修得とともに、総合的思考力・応用力を身につけるための教育を行います。
6. 学生のキャリアを育てるための科目を配置し、卒業後の進路を配慮した教育を行います。
7. 国際教育関連の科目群を配置し、国際社会での活動に対応できるための教育を行います。
8. 専門性を身につけるための畜産科学課程の専門ユニットの科目編成方針は次のとおりです。

<畜産科学課程>

家畜生産科学ユニット

- ・家畜の飼養管理、繁殖や改良、乳肉の生産についての知識と技術を修得するための授業科目を配置します。

環境生態学ユニット

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組みを学ぶための教育科目及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境を理解するための授業科目を配置します。

食品科学ユニット

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー）、二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）を学ぶための授業科目を配置します。

農業経済学ユニット

- ・農畜産の生産、加工、流通、消費に関わる諸問題を、経済学や経営学を主とする社会科学的なものの見方や調査に基づき的確に把握するための授業科目を配置します。

農業環境工学ユニット

- ・農業農村工学や農業システム工学に基づく先進的農業と環境保全を両立させるために必要な技術体系を学ぶための授業科目を配置します。

植物生産科学ユニット

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から、その環境で育つ作物の生理、生態及び育種を総合的に理解するための授業科目を配置します。

II 学校推薦型選抜（畜産科学課程，A推薦）

1 実施課程及び募集人員

学 部 名	課 程 名	募 集 人 員
畜 産 学 部	畜 産 科 学 課 程	15 人

注： 畜産科学課程は，2年次から各ユニットに分属します。

2 出願資格・要件

①の出願の対象となる高等学校等の②のいずれかの学科を令和5年4月以降に卒業（修了）した者又は令和6年3月までに卒業（修了）見込みの者で，かつ③及び④に該当し，人物，学力ともに優れ，当該学校長が責任をもって推薦できる者

① 出願の対象となる高等学校等

- i 高等学校
- ii 中等教育学校
- iii 特別支援学校の高等部
- iv 高等専門学校第3年次
- v 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設の当該課程

② 対象学科

- ア) 農業に関する学科
- イ) 上記以外の学科（農業に関する専門科目※を20単位以上修得している場合に限る。）

※ 農業に関する専門科目には，原則履修科目を含む。

③ 出願時において，調査書全体の学習成績の状況が3.8以上の者で，かつ数学，理科，英語の学習成績の状況がいずれも4.3以上の者

④ 合格した場合は，入学することを確約できる者

注： 学校推薦型選抜への出願について

国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含む。）への出願は，一つの大学・学部に限られています。

3 入学者選抜方法

大学入学共通テストを免除し，入学者の選抜は出願書類（推薦書，調査書，志望理由書），本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。

小論文（100点）： 特定の課題を与えて1,000字程度の論述を課します。

面 接（100点）： 複数の面接官による個人面接

Ⅲ 学校推薦型選抜（畜産科学課程，B推薦）

1 実施課程及び募集人員

学 部 名	課 程 名	募 集 人 員
畜 産 学 部	畜 産 科 学 課 程	40 人

注： 畜産科学課程は，2年次から各ユニットに分属します。

2 出願資格・要件

①の出願の対象となる高等学校等を令和5年4月以降に卒業（修了）した者又は令和6年3月までに卒業（修了）見込みの者で，かつ②～④のすべてに該当し，人物，学力ともに優れ，当該学校長が責任をもって推薦できる者

① 出願の対象となる高等学校等

- i 高等学校
- ii 中等教育学校
- iii 特別支援学校の高等部
- iv 高等専門学校の第3年次
- v 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設の当該課程

② 出願時において，調査書全体の学習成績の状況が4.0以上の者

③ 「物理」「化学」「生物」及び「地学」の4科目のうちから4単位以上修得した者又は令和6年3月までに修得見込みの者。なお，この「物理」「化学」「生物」「地学」とは学習指導要領上の科目名であって，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「理科課題研究」は含みません。また，学校によって独自の科目名称をつけている場合は，調査書の備考欄に学習指導要領上の「物理」「化学」「生物」「地学」に相当するものであることを付記してください。

注： 理数科にあつては，「理数物理」「理数化学」「理数生物」及び「理数地学」の4科目のうちから10単位以上修得した者又は令和6年3月までに修得見込みの者。また，高等専門学校にあつては理科科目の修得に関する要件を特に設けません。

④ 合格した場合は，入学することを確約できる者

注： 学校推薦型選抜への出願について

国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含む。）への出願は，一つの大学・学部に限られています。

3 入学者選抜方法

大学入学共通テストを免除し，入学者の選抜は出願書類（推薦書，調査書，志望理由書），本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。

小論文（100点）： 特定の課題を与えて1,000字程度の論述を課します。

面 接（100点）： 複数の面接官による個人面接

IV 学校推薦型選抜共通事項

1 出願手続

(1) 出願方法等

① 出願方法

(2)で記載する出願期間までに、本学のインターネット出願システムへの入力及び出願書類の郵送（または持参）により手続きしてください。

なお、郵送の場合は必ず「簡易書留・速達」としてください。

持参の場合の受付時間は8時30分から17時までです。ただし、土・日曜日は受付を行いません。

【インターネット出願システムにアクセスする前に】

・インターネット出願システムの URL 及び入力開始日は9月上旬頃に本学のホームページ（学部入試のページ）に掲載します。

・出願の際は、プリンター（出願書類出力用）、メールアドレス、顔写真データ（形式は jpg で 2 MB まで。詳細は7ページ参照）、調査書等が必要となりますので、必ず用意してから出願してください。

・インターネット出願システムに入力・登録しただけでは出願は完了しません。必ず出願書類の郵送（または持参）が必要ですので、郵送期間を十分に考慮し出願してください。

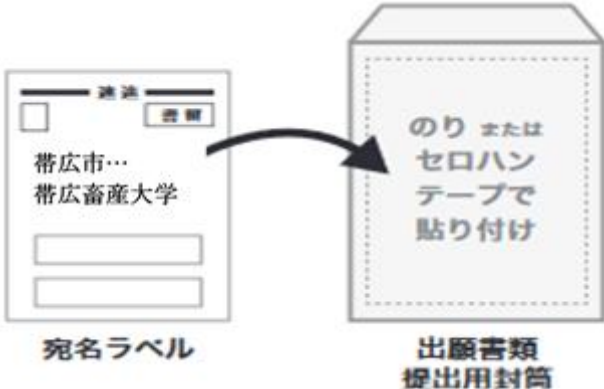
・インターネット出願サイト利用中の操作ミスや、接続不良を理由とした出願期間後の申込は受付ませんので、インターネット環境に不安のある方は必ず出願期間前に入試課までご相談ください。

・インターネット出願システムで登録後、登録内容の修正はできません。必ず、登録前に間違いがないことを確認して手続きしてください。

・検定料はコンビニエンスストア、金融機関 ATM【Pay-easy】、インターネットバンキング、クレジットカードのいずれかでお支払いください。検定料の支払いには支払方法に関わらず、入学検定料の他に手数料が必要となります。

支払期日は、インターネット出願システムで入力・登録した日の翌日まで（出願期間最終日に登録した場合の支払は当日）となります。支払期日を過ぎた場合は、登録した内容はキャンセルとなりますのでご注意ください。

② 出願書類

出 願 書 類	摘 要
<p>1 入学志願票 写真票 写真のアップロード</p> <p>★インターネット出願システムより登録・印刷し、入試課に郵送・持参すること。</p>	<p>インターネット出願システムにて、必要事項を入力し、出願前3ヶ月以内に撮影した志願者のカラー写真データ（上半身・脱帽・正面向き）をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続きを行い、入学志願票及び写真票をそれぞれ片面印刷してください。</p> <p>※検定料支払後にインターネット出願システムからA4サイズ（縦）で入学志願票、写真票をそれぞれカラー印刷してください。</p> <p>※アップロードした写真が「承認待ち」となっても、入学志願票と写真票を出力して、出願期間内に提出してください。</p> <p>※写真については、受験時に眼鏡をかける者は、必ず眼鏡をかけて撮影したものにしてください。</p>
<p>2 宛 名 ラ ベ ル</p> <p>★インターネット出願システムより印刷し、入試課に郵送・持参する際に使用すること。</p>	<p>・インターネット出願システムから本学様式の宛名ラベルを印刷し、出願用封筒（市販の角型2号封筒）に貼り付けてください。</p> <div style="text-align: center;">  <p>宛名ラベル</p> <p>出願書類 提出用封筒</p> </div>
<p>3 志 望 理 由 書</p> <p>★入学志願票等とともに同封すること。</p>	<p>・ホームページ（学部入試のページ）よりダウンロードした本学所定の様式に、畜産科学課程を志望する理由を1,000字以内で記入してください。</p>
<p>4 推 薦 書</p> <p>★入学志願票等とともに同封すること。</p>	<p>・ホームページ（学部入試のページ）よりダウンロードした本学所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したもの</p>
<p>5 調 査 書</p> <p>★入学志願票等とともに同封すること。</p>	<p>・文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したもの</p> <p>・廃校、被災その他の事情により出身学校長が作成する調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績表その他入学志願者が提出できる書類</p>

③ 検定料 (17,000円) 等払込方法

払込期間：令和5年10月18日(水)～令和5年11月6日(月)16:00まで

インターネット出願システムで志願者情報等を入力し、入力内容が正しいことを確認した上で、画面の指示に従って、コンビニエンスストア、~~金融機関 ATM【Pay-easy】、インターネットバンキング、クレジットカードのいずれか~~でお支払いください。(払込手数料は志願者負担)。

注1：検定料が払込まれていない場合、インターネット出願システムで入学志願票等を印刷できません。

注2：普通為替や現金では受理できません。

注3：発行された検定料の領収書(支払いを行ったお店の受領印が押されたもの)は、入学試験が終わるまで大切に保管してください。

注4：受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

ア) 出願しなかった場合

イ) 出願書類が受理されなかった場合

ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 入試課入学試験係 TEL 0155-49-5321

(2) 出願期間と郵送(持参)先

出願期間：令和5年11月1日(水)～令和5年11月6日(月)(最終日消印有効)

※ インターネット出願システムへの登録及び検定料の支払いが完了しても、出願書類の提出期限に書類が届かない場合は、出願を受理しませんので注意してください。

ただし、投函日が11月5日(日)～6日(月)の場合は、必ず郵送前に出力済の入学志願票の写しをメールまたはFAXにより、入試課入学試験係へ送信してください(連絡先は以下のとおり)。

※出願書類の郵送(持参)先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学入試課 入学試験係 宛
TEL: 0155-49-5321 FAX 0155-49-5420 メール nyushi@obihiro.ac.jp

(3) 出願上の注意事項

ア) 受理した出願書類等は、返還することができません。

イ) 入学志願票の「連絡先」に変更があった場合は、直ちに電話または電子メールで連絡してください。

(4) 受験票について

出願書類が受理された志願者は、**11月13日(月)10:00より**、インターネット出願システムから受験票の印刷が可能となりますので、**各自印刷して試験当日必ず持参してください。**

受験票が印刷できない場合は、入試課(TEL 0155-49-5321)にお問い合わせください

2 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願の前にあらかじめ本学と相談を行ってください。

(1) 事前相談を必要とする障がい等の程度

区 分	特別な配慮の対象となる者
① 視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障がい著しい者 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で特別な配慮を必要とする者

注：日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください。

(2) 相談の期限

令和 5 年 11 月 6 日 (月)

注：相談の期限後の不慮の事故その他特別な理由により、事前相談が必要になった場合は、直ちに(3)の連絡先に申し出てください。

なお、必要な場合には、本学において志願者又はその内容を説明し得る出身学校関係者等との面談を行うこともあります。事前相談書の様式は本学ホームページの入試情報に掲載しています。

(3) 連絡先 13 ページに記載してあります。

3 学力検査等の日時・場所

実施期日	時間	科目等	試験場
令和 5 年 11 月 25 日 (土)	9:30～11:00 (90 分)	小論文	帯広畜産大学
	12:00～	面接	

注：受験上の注意事項

ア) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

イ) 9 時までに試験室に入室してください。なお、試験室へは 8 時 30 分から入室することができます。

ウ) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

エ) 上靴を持参する必要はありません。

オ) 試験室内での携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤー等の電子機器の使用は認め

- られませんので、入室後は電源を切り、かばん等に入れて身につけないでください。
- カ) 試験中の筆記用具等の貸し借り及び下敷き・色鉛筆の使用は許可しません。
 - キ) 試験時間中は、受験票、筆記用具、時計（計時機能だけのもの）、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの）、目薬のほかは机の上に置くことはできません。それ以外のものは、足元等に置いてください。
 - ク) 試験室ではすべて監督者の指示に従ってください。また、もし不正行為があった場合には、受験結果をすべて無効とし、引き続いて受験することは許可しません。
 - ケ) 試験中、質問がある場合又は具合が悪くなったときは、手をあげて監督者がそばに来てから申し出てください。
 - コ) 昼食は各自持参のうえ、面接控室の自分の座席でとってください。
 - サ) 試験場の下見はできません。試験場配置図は11月22日（水）を目処に本学ホームページに掲載しますので、そちらで確認してください。
 - シ) 試験当日、付添人は試験場内に入ることはできません。
 - ス) 遠方からの受験者は、天候等による交通機関の遅れを考慮し、余裕をもった日程を組む等のほか、衣服・履物等にも十分留意してください。

4 合格発表

- (1) 合格者の受験番号は、下記日時に本学ホームページに掲載するとともに、合格者には合格通知書を「レターパック」で郵送します。

合格発表日時： 令和5年12月6日（水）10時頃
本学ホームページ URL： <https://www.obihiro.ac.jp/>

- (2) 出身学校長には、選抜結果を通知します。
- (3) 電話等による可否の照会には、応じられません。

5 入学手続

入学試験に合格した者には、入学手続に必要な書類等を合格通知書とともに送付します。

- (1) 入学手続期間
令和5年12月6日（水）～令和5年12月20日（水）（最終日17時必着）
- (2) 提出書類
誓約書
その他必要な書類は入学手続時に案内します。
- (3) 納付金
入学料 282,000円
注： 上記の納付金は現行額であり、入学時に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。
- (4) 入学手続上の注意事項
 - ア) 持参の場合の受付時間は、8時30分から17時までです。ただし土・日曜日及び祝日は受付を行いません。
郵送の場合は必ず「**書留速達**」としてください。
 - イ) 入学料は、本学所定の払込取扱票により入学手続期間内に最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。
 - ウ) 特別の事情があり入学を辞退するときは、出身学校長を経由して「学校推薦型選抜辞退願」（任意様式。ただし、出身学校長の押印があるもの）を令和5年12月20日（水）までに本学学長あてに提出して許可を受けてください。
 - エ) 合格者はウ)に定める手続により入学辞退の許可を得た場合を除いて、本学、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても入学許可は得られません。
 - オ) 入学手続期限までに必ず「**入学手続**」又は「**入学辞退**」のどちらかを行ってください。

授業料について（参考）

前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

※金額は前期・後期とも予定額です。

※納入期限は、前期分が5月末日、後期分については11月末日です。

(5) その他入学に際しての諸手続等

その他入学に際して必要な諸手続及び入学式、オリエンテーション等については、合格通知書と一緒に郵送します。

6 日本学生支援機構給付奨学生に採用された方の入学料免除・授業料免除

令和2年4月から始まった国の「高等教育の修学支援新制度」により日本学生支援機構（以下「JASSO」という）の給付型奨学金の対象者となる方（JASSO 給付奨学生）は、入学料及び授業料も併せて減免されます。

制度の詳細については、下記 JASSO ホームページをご確認ください。なお、本制度における本学の入学料免除及び授業料免除申請手続きの方法については、合格発表後に郵送される入学案内に記載しておりますので、申請希望の方は確認の上、定められた期間内に申請してください。

JASSO ホームページ<奨学金の制度（給付型）>

URL : <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

[給付奨学生免除・問い合わせ先]

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学 学生支援課学生生活支援係

TEL 0155-49-5310（直通）（月～金 8:30～17:15）

7 帯広畜産大学独自の入学料の免除・徴収猶予

令和2年4月以降入学の学部生の入学料免除は、「高等教育の修学支援新制度」により実施しますが、次の申請資格に該当すると認められる方に対しては、従来の、以下「帯広畜産大学独自の入学料の免除・徴収猶予」の制度により、本人の申請に基づき、選考の上、予算の範囲内で入学料の全額または半額を免除する制度及び入学料の納入を猶予する制度がありますので、希望する方は下記要領により申請してください。

(1) 入学料免除対象者[申請資格]

令和5年4月から令和6年3月までの間に、次の申請資格ア) またはイ) のいずれかの特別な事情があり、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合は、入学料の免除を申請することができます。

ア) 入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡した場合

イ) 入学する者もしくは学資負担者が大規模な風水害等の災害を受けた場合

※「平成30年7月豪雨」、「北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第19号」、「令和2年7月豪雨」等激甚災害により、家計支持者が被災し、被災状況が半壊以上で罹災証明書が発行された世帯の方については、上記期間に関わらず下記の(5)にご相談ください。

(2) 入学料徴収猶予対象者[申請資格]

経済的理由により入学料の納入期限までに納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、または上記「(1)入学料免除対象者[申請資格]ア)またはイ)」のいずれかに該当し、入学料の納入期限までに納入が困難であると認められる場合には、入学料の徴収猶予を申請することができます。（徴収猶予申請が認められた場合でも、納入すべき金額が減免されるわけではありません。）

(3) 入学料免除の額

納付すべき入学料の全額または半額

(4) 申請書類の請求・提出方法

免除または徴収猶予対象に該当し希望する方は、郵便番号・住所・氏名を明記し、140円分の

切手（速達の場合は400円）を貼った返信用封筒（角型2号）を同封の上、大学宛ての封筒の表に朱書きで「学部入学料免除申請書類請求」と明記し、下記の(5)に請求してください。

請求期間 令和5年11月1日(水)～令和5年11月6日(月)

提出期間 令和5年12月6日(水)～令和5年12月20日(水)

(5) 請求先及び提出先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学 学生支援課 学生生活支援係

TEL 0155-49-5310（直通）（月～金 8:30～17:15）

(6) 注意事項

ア) 入学料免除（または徴収猶予）の申請をした方については、選考結果が決定するまでの入学料の納入が猶予されます。

イ) 入学料免除の選考結果が不許可又は半額免除であった場合、その決定があった日から14日以内に該当の入学料を納入しなければなりません。

ウ) 徴収猶予が許可となった場合は、許可された期限までに、該当の入学料を納入してください。

エ) 全額免除以外の場合で、指示された期限内に該当の入学料を納入しない場合、除籍となります。

8 帯広畜産大学独自の授業料の免除・徴収猶予

令和2年4月以降入学の学部生の授業料免除は、「高等教育の修学支援新制度」により実施しますが、次の申請資格に該当すると認められる方に対しては、従来の、以下「帯広畜産大学独自の授業料の免除・徴収猶予」の制度により、本人の申請に基づき、選考の上、予算の範囲内で授業料の全額または半額を免除する制度及び授業料の納入を猶予する制度があります。詳細は合格発表後に郵送される入学案内に記載しておりますので、申請希望の方は確認の上、定められた期間内に申請してください。

(1) 授業料免除対象者[申請資格]

令和5年4月から令和6年3月までの間に、次の申請資格ア) またはイ) のいずれかの特別な事情があり、授業料の納入が著しく困難であると認められる場合は、授業料の免除を申請することができます。

ア) 学資負担者が死亡した場合

イ) 学生もしくは学資負担者が大規模な風水害等の災害を受けた場合

※「平成30年7月豪雨」、「北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第19号」、「令和2年7月豪雨」等激甚災害により、家計支持者が被災し、被災状況が半壊以上で罹災証明書が発行された世帯の方については、上記期間に関わらず下記の(3)にご相談ください。

(2) 授業料徴収猶予対象者[申請資格]

経済的理由により授業料の納入期限までに納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、または上記「(1) 授業料免除対象者[申請資格] ア) またはイ)」のいずれかに該当し、授業料の納入期限までに納入が困難であると認められる場合には、授業料の徴収猶予を申請することができます。（徴収猶予申請が認められた場合でも、納入すべき金額が減免されるわけではありません。）

(3) 授業料免除・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学 学生支援課 学生生活支援係

TEL 0155-49-5310（直通）（月～金 8:30～17:15）

(4) 注意事項

ア) 授業料免除（または徴収猶予）の申請をした方については、選考結果が決定するまでの授業料の納入が猶予されます。

イ) 授業料免除の選考結果が不許可又は半額免除であった場合、本学が指定する日までに授業料を納入しなければなりません。

ウ) 徴収猶予が許可となった場合は、許可された期限までに、該当の授業料を納入してください。

エ) 授業料免除は、半期（前半期・後半期）ごとに申請が必要です。

9 学生寄宿舍について

本学には、大学構内に学生寄宿舍（寮）があります（全個室）。

男子ブロックは144名、女子ブロックは158名となっており、両ブロック間の行き来はできません。詳細については、本学ホームページを参照してください。

入寮の手続きについては、合格通知の際に別途説明します。

10 学生教育研究災害傷害保険について

本学では、大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険へ加入していただきます。詳細については、合格通知の際に別途説明します。

11 一般選抜への出願について

学校推薦型選抜で不合格となった場合には、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの、合計二つの国公立大学・学部に出願することができます。

12 入学前の学習課題について（畜産科学課程A推薦のみ）

畜産科学科課程A推薦の合格者には、入学までに取り組むべき基本教科の課題を課します。詳細は、合格通知書とともに通知します。

13 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願時に提供いただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。
- (4) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (5) 上記(2)及び(4)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係（修学指導等）、学生支援関係（奨学金申請・授業料免除申請等）に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお、合格者には入学手続き時にあらためてお知らせします。
- (6) 国公立大・学部一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜の合格及び入学手続に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号）が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

○試験成績等の開示

本学では、本人からの請求に基づき、令和6年度入学者選抜に係る試験成績について、次により開示します。

開示方法	窓口及び郵便による請求に基づき「成績開示通知書」を交付します。
開示内容	小論文・面接の成績及び順位
請求権者	受験生本人のみ
本人の確認	本学の受験票（コピー・写真不可，紛失した場合請求不可）
請求方法	「成績開示請求書」は窓口で記入するか、本学ホームページ「入試情報」からダウンロードし、記入してください。 ① 窓口の場合（帯広畜産大学新入生のみ） 成績開示請求書 及び、 本学の受験票 を提出してください。 ② 郵便による場合 成績開示請求書 、 本学の受験票 及び 返信用封筒 （郵便番号・住所・氏名を明記し、 519円分の切手 を貼付したもの。サイズは長型3号。）を下記「請求先」に送付してください。 大学あての封筒の表には、「 成績請求 」と朱書きしてください。 ※返信分の切手代には書留料を含みます。
請求期間	令和6年5月7日（火）～令和6年5月31日（金）
請求先	〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試課 入学試験係

○ 出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学 入試課 入学試験係
TEL 0155-49-5321（入学試験係直通）（月～金 8:30～17:15）
E-mail : nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各課程の紹介、大学の概要等が載っています。
アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp>

帯広畜産大学携帯電話サイトのご案内

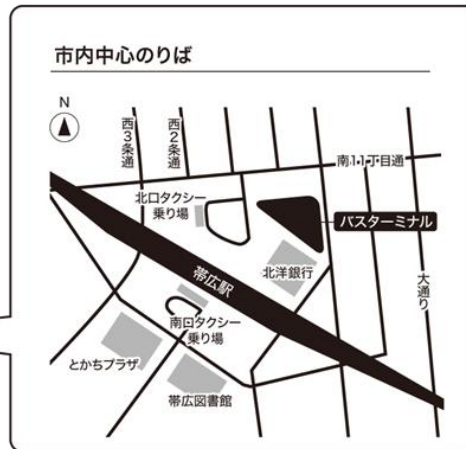
出願状況速報、合格発表などの情報をスマートフォンや携帯電話から閲覧できます。
アドレスは、次のとおりです。 <https://daigakuje.jp/obihiro>
右のQRコードからも読み取れます。



帯広畜産大学所在地及び交通案内図

帯広畜産大学 北海道帯広市稲田町西2線11番地

アクセスマップ



●交通案内●

○帯広駅から本学まで

【十勝バス】

帯広駅バスターミナル9番から大空団地線（系統番号70・72）に乗

（約30分 420円、1時間に2本）

大学正門まで徒歩15分

【タクシー】

約15分 約2,400円（約7km）

○とち帯広空港から本学まで

【バス】

とち帯広空港→空港連絡バス（約40分 1,000円）→帯広駅バスターミナル

→上記の路線バス

【タクシー】

約30分 約7,000円（約21km）

十勝バス HP

